

2023 年 7 月 31 日
日本メジフィジックス株式会社

日本医用画像工学会の功績賞を受賞 ～骨シンチグラム解析 AI の開発、実用化、および普及～

日本メジフィジックス株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:富ヶ原 祥隆)は、一般社団法人日本医用画像工学会より、医用画像工学分野において「骨シンチグラム解析 AI の開発、実用化、および普及」に関する功績が顕著であるとして、当社社員が大学等の研究者と共同で 2023 年度の功績賞を受賞したことをお知らせいたします。

【功績名】

骨シンチグラム解析 AI の開発、実用化、および普及

【受賞者 (敬称略)】

清水 昭伸 東京農工大学大学院 工学研究院 教授

斉藤 篤 元 東京農工大学大学院 工学研究院 助教

大崎 洋充 群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 教授

河邊 譲治 大阪公立大学大学院医学研究科核医学 病院教授、附属病院核医学科 診療科部長

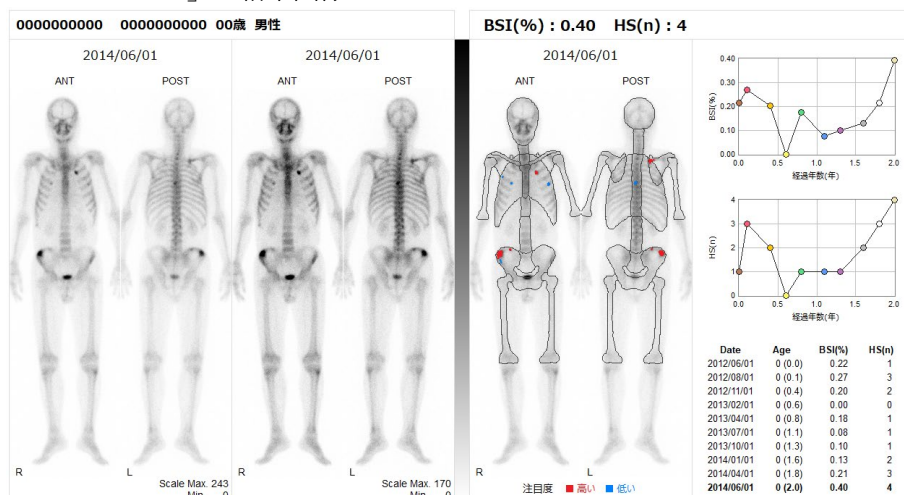
東山 滋明 大阪公立大学大学院医学研究科核医学 講師、附属病院核医学科 診療科副部長

西川 和宏 日本メジフィジックス株式会社 営業本部 マーケティング部 ソフトウェアグループマネジャー

【受賞対象となった骨シンチグラム解析 AI を搭載した医療機器プログラム「核医学画像解析ソフトウェア VSBONE® BSI」*1 について】

医療機器プログラム「核医学画像解析ソフトウェア VSBONE® BSI」(以下、「VSBONE BSI」)は、核医学検査*2の一つである骨シンチグラフィ*3で得られた全身像(以下、骨シンチ全身像)を処理し、診断補助としての情報を提供するプログラムで、2019 年 7 月に当社が製造販売認証を取得しました*4。「VSBONE BSI」は、骨シンチ全身像において骨格の解剖構造を認識し、膀胱等を除いた高集積部位(ホットスポット)の設定を行い、骨転移の広がりを評価する定量的な指標である「BSI*5」を算出します。骨格の解剖構造認識、ホットスポットの設定には、ディープラーニングを用いたニューラルネットワーク(学習済みモデル)を使用しています。「VSBONE BSI」は、BSI の算出に加え、治療経過に伴って得られた複数の画像を同じ濃度で並べることで経過を観察しやすくするなど、医療現場での画像診断補助に貢献しています。

「VSBONE BSI」の結果画像



画像提供：大阪公立大学医学部附属病院

- *1 市販後の学習機能は有さない
- *2 放射線を放出する微量の薬剤を患者さんに投与し、薬剤が患部に集まる様子を体外から撮影することにより、病気の状態を診断する画像検査法の一つ
- *3 核医学検査の一つで、骨の代謝状況を調べる検査
- *4 販売名：核医学画像解析ソフトウェア VSBONE® BSI 認証番号：301ADBZX00029000
- *5 Bone Scan Index の略で、全身骨格に対する骨転移腫瘍領域の構成比を百分率で表した指標

日本メジフィジックス株式会社について

日本メジフィジックスは、日本における放射性医薬品のリーディングカンパニーとして、製品の安定供給と新製品の研究開発に日々取り組んでいます。さらに、これまでに培った技術力と信頼をベースに、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供する新しい医療技術「セラノスティクス(治療と診断の融合)」の研究開発や、ライセンス供与などを通じたアジア諸国での核医学の普及に取り組んでいます。そして、これからも生命関連企業としての価値創造を継続し、社会に貢献してまいります。

Web サイト: <https://www.nmp.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先:

日本メジフィジックス株式会社 総務部広報グループ
Tel: 03-5634-7006 E-mail: nmp_press@nmp.co.jp